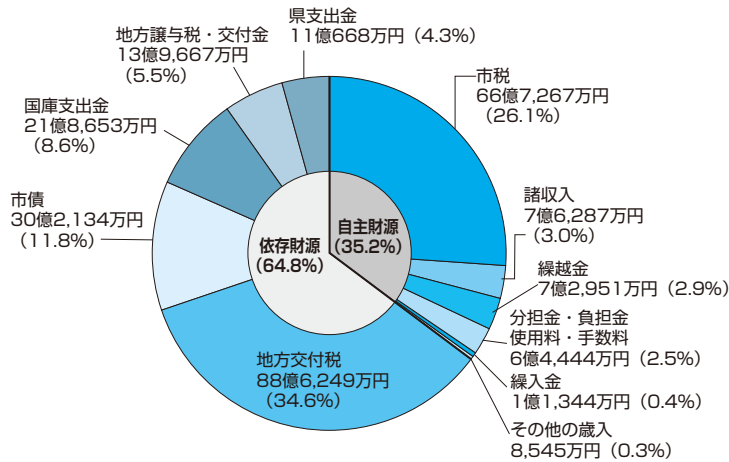


二本松市の財政

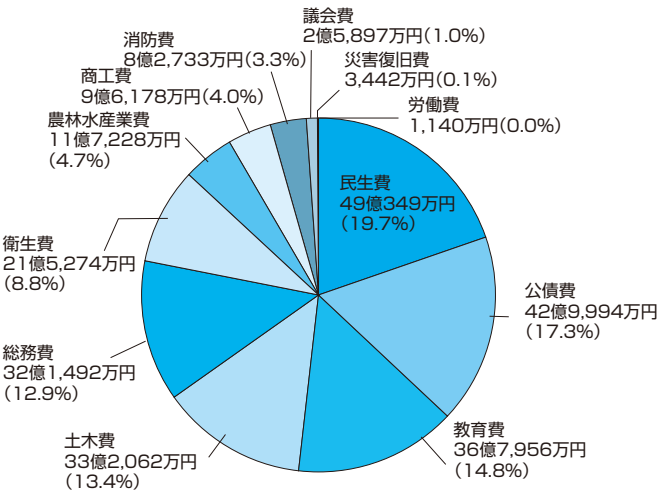
一般会計 歳入

255億8,209万円(前年比1.0%減)



一般会計 歳出

248億3,745万円(前年比1.1%減)



～歳出用語の解説(主な支出科目)～

- ◎民生費：福祉、生活保護などの経費
- ◎公債費：市の借金の返済などの経費
- ◎教育費：学校教育や生涯学習などの経費
- ◎土木費：道路や河川等の整備、市営住宅管理などの経費
- ◎総務費：税金の賦課徴収、選挙、支所等管理、国際交流、自治振興などの経費
- ◎衛生費：各種検診、予防接種、ゴミ処理などの経費

～歳入用語の解説(主な歳入科目)～

- ◎市税：市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税等
- ◎諸収入：各種貸付金元利収入等
- ◎繰入金：基金(市の預金)を取り崩したお金等
- ◎地方交付税：地方公共団体の財源調整を目的として国から交付されるお金
- ◎市債：市の事業や国の施策により発行した借入金
- ◎国庫支出金・県支出金：特定の事務事業のために国(県)から交付されるお金

市債残高

会計	残高	市民一人あたり
一般会計	300億2,854万円	48万4,230円
特別会計	54億7,265万円	8万8,250円
企業会計	125億7,662万円	20万2,806円
合計	480億7,781万円	77万5,286円

※上記数値は平成20年度末市債残高です。
 ※特別会計は、国保診療所建設事業、簡易水道事業、下水道事業分です。
 ※企業会計は、水道事業、下水道事業分です。
 ※市民一人あたり残高は、平成21年3月31日現在の住民基本台帳人口(62,013人)を基準にしています。

財政公表について

市の財政がどのような状況にあり、皆さんが納めた税金や、国・県からの補助金、市の財産、借りているお金がどのように使われているかを知っていただくため、財政状況を市民の皆さんに公表しています。

今回は、「平成20年度決算」の概要をお知らせします。

平成20年度決算の概要

平成20年度一般会計決算額

歳入総額	255億8,209万円
歳出総額	248億3,745万円
差引	7億4,464万円
平成21年度へ繰り越すべき財源	1億2,118万円
実質収支額	6億2,346万円

歳入では、地方交付税が、地方と都市の「共生」の考え方の下に増額されたほか、事業実施に伴う市債についても前年度に比べて増加しました。

一方、地方譲与税・交付金、繰入金などが大幅な減少となりました。

歳出では、市長期総合計画に掲げられた基本目標実現のため、より効果的に展開されるよう主要施策を選定、実施してまいりました。主な概要については、次ページに掲載しています。

市民一人あたりにすると

一般会計

一人あたりの市税負担額

10万7,601円

一人あたりに使われたお金

40万520円

①活力ある産業・観光交流のまちづくり

地域の特色を活かした産業の振興

地域の特色を活かした産業の振興を図るため、農業担い手の育成支援や特産品ブランド化の推進、経営力の向上支援のための商工業融資事業のほか、企業立地の促進を図りました。また、二本松の認知度向上のためのイメージアップキャンペーン事業や観光案内サイン整備等を行い、観光客受け入れ環境の整備充実を図りました。

さらに、道路ネットワークや二本松駅前整備等による都市基盤の充実と魅力的なまちづくりを推進しました。

○地域担い手育成総合支援事業	1,241万円
○園芸・畑作施設整備事業	525万円
○商工業融資事業	5億8,367万円
○工場等立地促進事業	1,169万円
○観光立市推進事業・観光案内サイン整備事業	3,683万円
○市道整備事業	5億9,360万円
○二本松駅前周辺整備事業	10億2,580万円
○二本松駅前広場整備事業	3,642万円



▲二本松駅前広場整備事業

②人を育てるすこやかなまちづくり

子育て支援

次世代の育成促進と少子化対策として、安全で正常な出産ができるよう妊婦の健康診査費を助成したほか、育児に関する経済的支援として出産祝金を支給しました。また、昼間保護者のいない小学校低・中学年までの児童を対象に、放課後、有意義な時間を過ごせるよう学童保育を行い、児童の健全な育成に努めました。

○妊婦健康診査事業と指導体制の充実	2,710万円	○学童保育事業	6,178万円
○出産祝金支給事業	4,640万円		

健康づくりと生涯スポーツの支援

新生児から高齢者までの全市民を対象とした「市健康増進計画」により、市民の健康づくりを推進しました。

また、市民がすこやかにいきいきと暮らせるよう各種検診、健康教室および健康相談事業を行い、健康の維持増進に努めたほか、スポーツクラブやスポーツ大会の開催を支援し、スポーツ活動を推進しました。

○健康づくり推進事業	127万円	○総合型地域スポーツクラブ活動支援	832万円
○各種検診の実施と健康相談等の実施	4,874万円		

③安全・安心、市民の暮らしを支えるまちづくり

市民の生命と財産の確保

市民が安全・安心に生活できるよう消防施設・設備の維持管理を行ったほか、消防ポンプ自動車の更新、消火栓および防火水槽の設置等、消防施設を整備し、有事に備えました。

○消防施設等整備事業	2,384万円
------------	---------

※平成20年度決算の詳細については、決算書および関連資料を本庁企画財政課のほか、各支所、住民センター、公民館、図書館に備え付けておりますのでご覧ください。



▲東和地区隊第2分団第1部田谷屯所 消防ポンプ自動車